

令和3年度 日本医師会
女性医師支援・ドクターバンク連携
九州ブロック会議

佐賀県のこれまで・今後の取組みについて

佐賀県医師会・常任理事 美川 優子

佐賀県のこれまでの取り組み

【講演活動】

- 2007年～「女性医師の勤務環境整備に関する研修会」
- 2009年～「女子医学生・女性研修医等をサポートする会」
- 2012年～「医学生・研修医等をサポートする会」
- 2018年～2019年「医学生のキャリア教育セミナー」

【佐賀県と大学の取り組み】

2010年～2016年：佐賀県女性医師就労支援「SAGAJOY」

女性医師復職支援のため、勤務実態調査と窓口設置

【県医師会としての取り組み】

2014年：県内病院における勤務医師の実態調査

振り返りと今後の課題

【これまでの活動について】

- 実態調査を通して、勤務環境などの現状把握ができた
- 講演・懇談会を行うことで、女性医師就労支援への認知度と理解を広めることができた
- 求職の相談などは無く、具体的な就労支援活動実績は上げられなかった

【今後の課題】

- 多様な働き方への相互理解を深めていく
- 個別の相談窓口（メンター制度等）の充実
- 求職側と求人側の条件のすりあわせ（マッチング）

佐賀大学医学部附属病院
医師育成・定着支援センターにおける
Saga Medical Career Support Center
医師のキャリア支援について

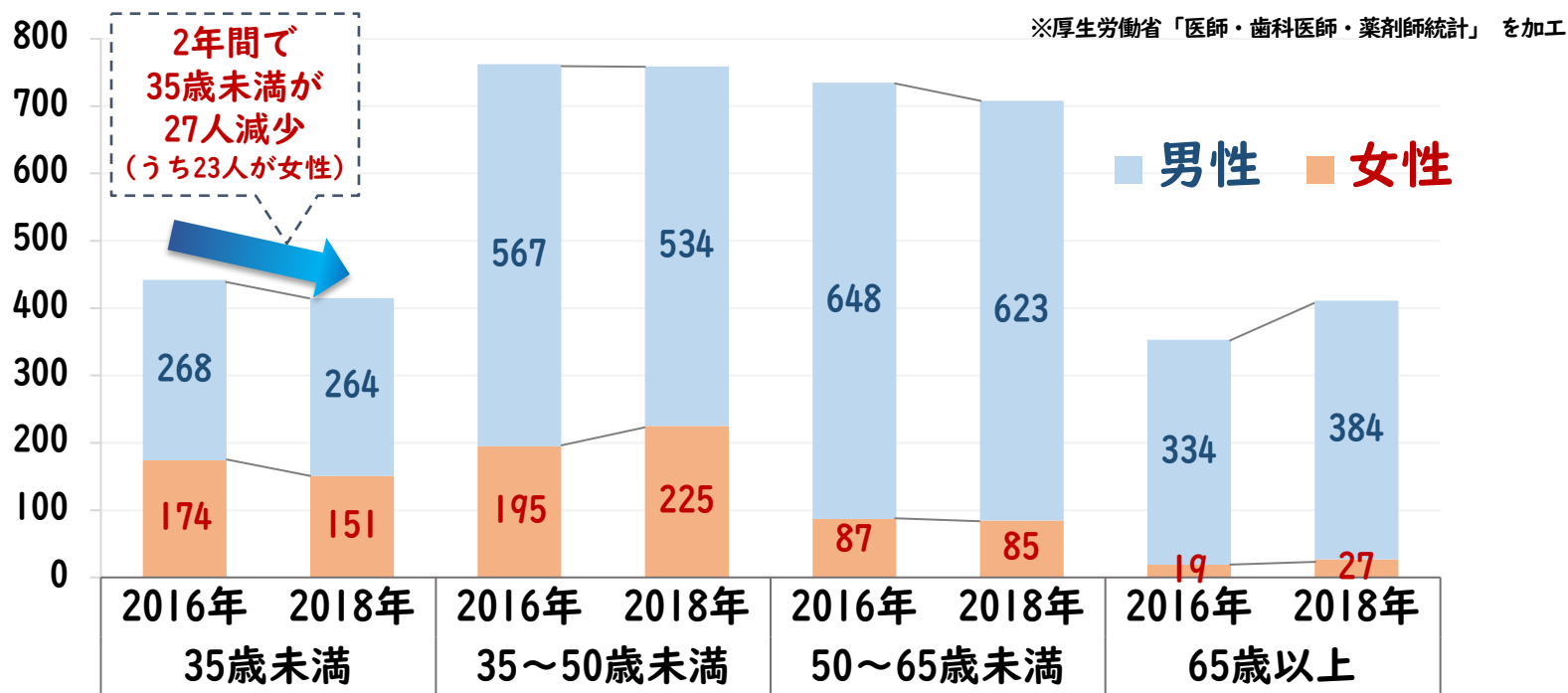
佐賀大学医学部附属病院
医師育成・定着支援センター
センター長（特任教授）
江村 正（えむら せい）

講演の流れ

- 背景
 - SAGA Doctor-S プロジェクト
- 今後の医師支援について
 - 復職・再研修支援体制、女性医師のキャリアアップ支援体制

県内の若手医師、女性医師が減少しています

2016～2018年の県内医師の年齢階級別人数



若手医師の層が薄く、しかも減少しており、地域医療の担い手不足が懸念…

令和2年8月26日 知事定例記者会見の資料より

そこで、医師定着のために **SAGA Doctor-S** プロジェクトを展開！

3つの「S」の視点で様々な取組を実施

Spirit

1 佐賀県で学び・働き・活躍する「志」と「誇り」を！

日本の医療のあけぼのは佐賀。臨床現場で活躍する
医「志」を育て、医療人としての「誇り」を醸成

Settlement

Support

2 医師を育てるオール佐賀のサポート体制を！

佐賀での医師の「学ぶ・働く・暮らす」をサポート！
UIJターンや学び直しも応援

Satisfaction

3 働きやすく・働きがいのある医療機関へ！

医師のみならず医療従事者が「働きたい！」
と思える勤務環境改善を推進

佐賀の医療の将来を担う医師の**育成・定着**を「オール佐賀」で支援

令和2年8月26日 知事定例記者会見の資料より

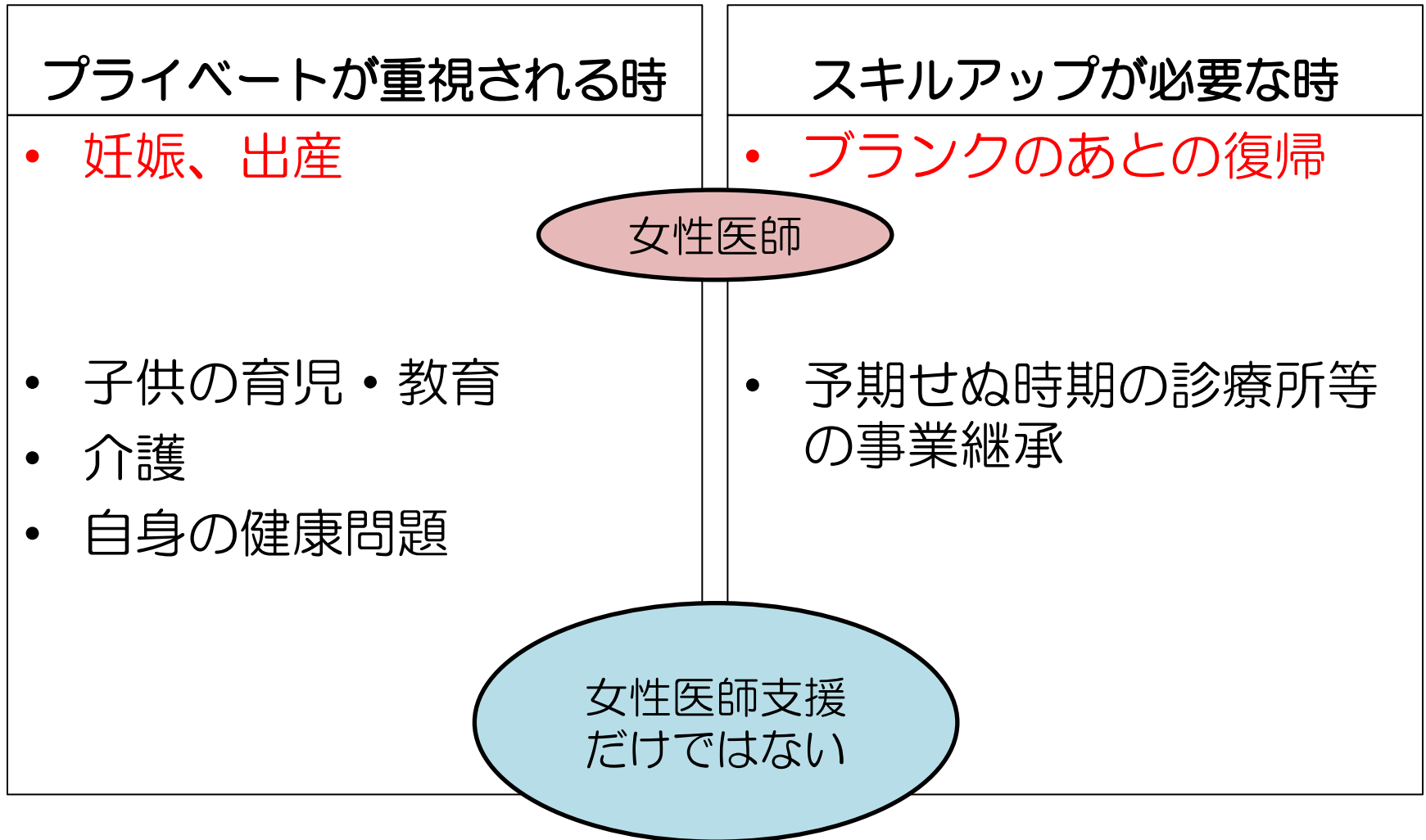
令和2年8月26日 知事定例記者会見より

- 佐賀大学医学部の半分は女性医師の卵なんですけれども、そういう皆さん方とにかくに佐賀県に残ってもらおうのかというのが我々の急務
- 女性が多いので、様々な医師の活動のサポートもする「学ぶ・働く・暮らす」をSupport（サポート）できるような体制も完備させていただかなければいけない

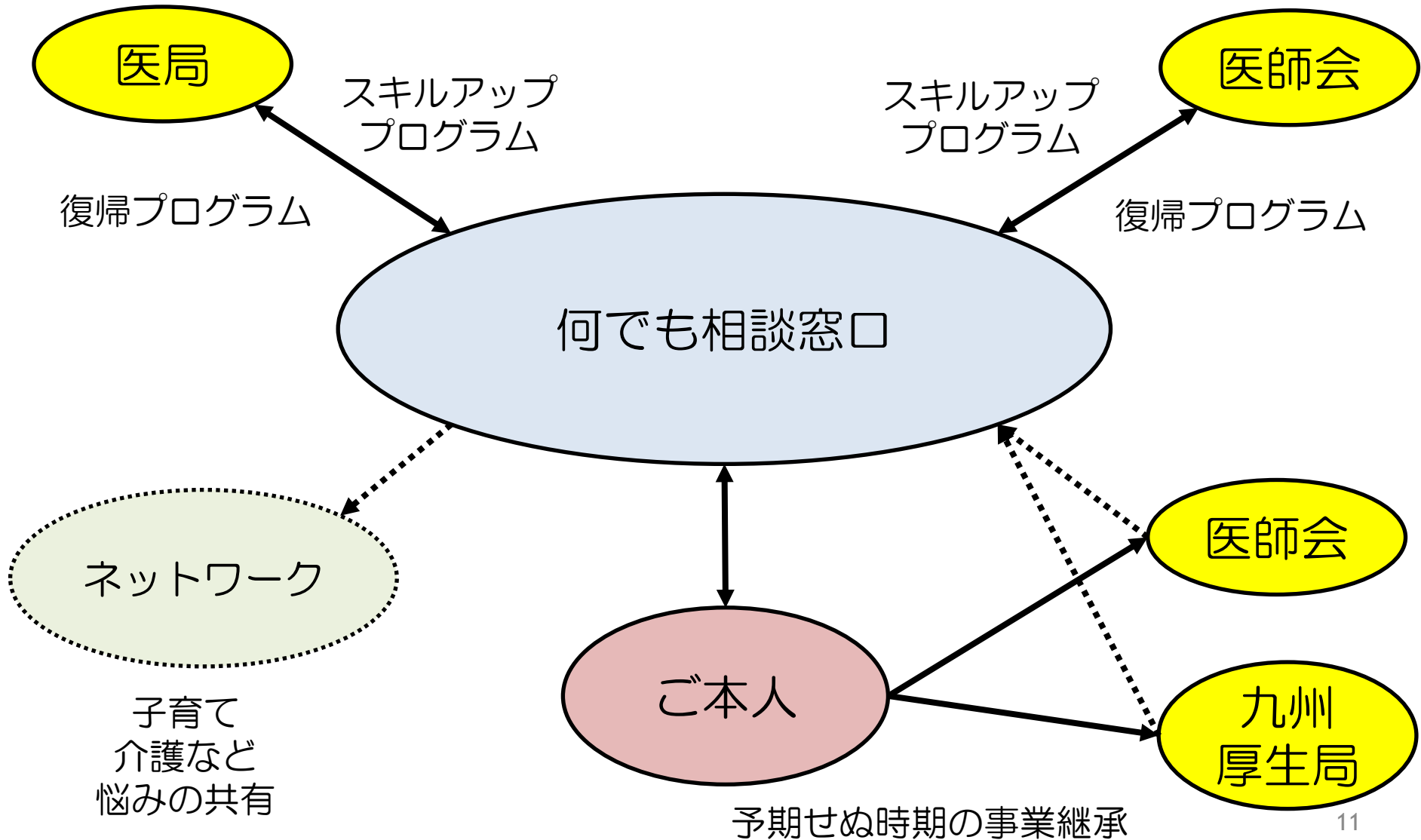
プロジェクトの目標

- 中長期目標
 - 県内の医療需要のピーク時（2035～2040）までに、佐賀をベースに働く医師（若手医師・女性医師）を増やしつつ、診療科ごとの必要医師数を確保する。
- 短期目標
 - 県内の臨床研修医を増やす
 - 県内の専攻医を増やす
 - 女性医師の流出を抑制する

特に支援が必要な時



今後の医師支援について



今後の医師支援について

